「米粉」を活用した6次化商品の開発

小野高校家庭クラブと商品開発について連携

平成26年度、小野町では「米粉」を活用した6次化商品開発を行っており、このたび、町は小野高校家庭クラブに「米粉」5キログラムを贈呈しました。

小野高校では町と連携し、家庭クラブで6次化商品開発の取り組みを行っており、高校生ならではの若い感性とアイデアを駆使して現在進行中です。

家庭クラブは、「創造」「勤労」「愛情」「奉仕」の4つの精神の下、研究活動や奉仕作業、保育園でのボランティアやクッキング講習会などの活動を行っており、「we love ♡小野町」をキャッチフレーズに食を中心に地域の食材を見直し、伝えていくことをテーマに研究を進めています。

また町は商工会などにおいても連携をし、「米粉」の6次 化商品開発を行っていきます。



▲左から鈴木志緒美さん(2年)、西牧楓さん(2年)

小野高校家庭クラブによる 米粉を使った試作品





❖前田さんのご紹介❖

16歳の頃に生け花を習い始め、その後、フラワーアレンジや押し花、プリザーブドフラワーを学ぶ。

装飾会社やブライダル、花屋など花に携わる仕事を経て、現在は育児をしながら鎌倉市の自宅で季節ごとにレッスンを行っている。

前田恵子さん(神奈川県鎌倉市)が プリザーブドフラワーを寄贈

このたび、前田恵子さん(神奈川県鎌倉市)からプリザーブドフラワー※をご寄贈いただきました。

これは、町内にご親戚のある前田さんが「大好きな小野町の皆さんに少しでも笑顔になってほしい」との思いから、2月に銀座三越で行われた「第9回フロールエバープリザーブドフラワーコンテスト」で入選した作品をご寄贈くださったものです。

「暖 nostalgie」という作品名のとおり、暖かみのある作品で、前田さんの小野町に対する思いとともにとても心温まるものです。

ふるさと文化の館内に飾らせていただきましたので、皆 さんぜひご覧ください。

※プリザーブドフラワーとは…

「preserve」は保存するという意味。生花に保存液と着色料を吸わせ、乾燥したもの。ブーケやインテリアなどに使われる。ドライフラワーとは異なり、鮮やかな色や柔らかい感触などを長時間保つことができる。

さんにも聞こえるよう 届けていました。 信パレード」。の様子です 元気に応援しましょう 方となりますが、 !の児童や団体によるパ (載する予定です)。 さて、 町内の皆さんに元気を 気が溢れる町「元気発 日に行われた。笑顔と [の試合は日本時間で あ は、 いる日本代表の皆 年に1度の W杯が始まります 記事は7月号に 間もなく と その名のとお が き

